

2 入換機関車の作業設定 構内の作業量によって、作業の
設定方法にはつぎの3種類がある。

(1) 専用入換 終日または1日の大部分1駅で入換に使用する
入換機関車。

(2) 兼用入換 1両で数駅の入換を行う入換機関車。機関車
が作業駅間を移動する場合には、単行の場合と貨物列車となる
場合がある。

(3) 着発機入換 到着列車または出発列車の牽引(けんいん)
機で行う入換。作業量が少ない場合、あるいは専用入換または
兼用入換を補助しなければならない場合に設定する。

3 入換機関車の使用両数 専用入換機関車の使用両数は、
構内の作業量および作業内容、配線等によって異なる。大操車
場では5両以上の入換機関車を使用しているが、普通の組立駅
では2~4両である。使用両数が多すぎると作業の競合が多く
なって、作業能率が低下するから設備、作業量等を考慮して、
その構内の作業を遂行するために必要な最小の両数を使用するの
がもっとも合理的である。第1表は入換機関車の使用両数別停車
場数を示し、第2表は入換機関車の使用時分を示している。第
2表における回数のはんは、機関車運行表で入換時分を指定さ
れている回数の合計である。また作業時分はすべて機関車運行
表に指定されている時分の合計である。

第1表 入換機関車使用両数別停車場数 (昭和30・12・1現在)

使用両数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
停車場数	117	75	26	22	11	12	1	1	3	2	1	271

第2表 入換機関車使用時分 (昭和30・12・1現在)

種別	項目		
	両数	回数	作業時分
専用入換機	629	—	時間 12,228
兼用入換機	—	1,084	2,126
着発機	—	5,368	1,937
合計	629	6,452	16,293

(山岸勘六)

関または電動機を動力とするものがある。

組成停車場のように入換作業のひん繁に行われる停車場には
入換機関車を配置するが、中間停車場で比較的に入換作業の多い
箇所であって、入換機関車を配置するほどではないが、手押入
換では間に合わないような停車場における入換用動力車として
使用されるものである。

この動車は一般の動力車の規格によらない簡単な構造のもの
で、自重が小さいので制動力も小さく、牽引(けんいん)する貨
車の車側制動機を併用する等特別の取扱いを必要とするもので
あって、牽引力もだいたい貨車2両くらいを限度とするものが
多く、最高速度も15km/hに制限されているものである。(三和
達忠)

いわいずみせん 岩泉線 小本線の宇津野駅を起点とし、岩
手落合および岩泉町を経て小本駅(岩手県下閉伊郡小本村)を終
点とする路線と、岩手落合駅から分岐して、国鉄自動車沼宮内
西線中の江刈線の国境峠駅に至る路線等からなる国鉄自動車路
線と、これを所管する岩泉自動車営業所を同県同郡岩泉町に、
また岩手小川派出所を同県同郡小川村に設置している。



1 区間・キロ程および沿革

宇津野・小本	40km	昭22・12・25 開業
岩手落合・国境峠	24	"
大渡・釜津田	17	昭28・11・28
名目入・権現	12	"
乙茂・上有芸	15	昭31・10・20
乙茂・島ノ越	20	昭31・2・10

上記のうち乙茂・猿沢間は昭28・11・28 開業

2 営業範囲

宇津野・小本間および岩手落合・国境峠間は旅客・手小荷物
および貨物、その他の区間は旅客のみの運輸営業を行っている。

3 接続駅および業務委託駅

- (1) 接続駅 宇津野。
- (2) 業務委託駅 大渡、浅内、岩泉、小本、斐綿、岩手小川、見内川。

4 使 命 東北のチベットといわれる高原地帯東地の交通確保と、地方産業の開発を目的に開設された路線で、降雪期間も除雪を行って通年運転を確保している。なお宇津野・小本間は鉄道建設予定線となっている。

5 特 長 岩泉から北上山脈を横断して盛岡との間に急行便を運転して、盛岡への日帰り旅行が可能となるほか、大渡鉱山から産出されるシャモット、石炭等の輸送も行っている。

岩泉地方は明治の初めから酪農経営が盛んに行われて、一時は人口よりも牛の頭数が多かった時代もあったほどで、乳牛の改良や各種乳製品の工場も設立されて酪農の先進地を自負している。したがって原乳や乳製品の輸送がきわめて多い。

岩泉・盛岡間の急行便のうちの1往復に移動ポストを取付け

いれかえきかんしゃじつどうちようさ 入換機関車実働調査

入換機関車の使用状況ならびに構内作業状況の実態をは握するために
行う実働調査であって、通常つぎの目的によって調査される。

- 1 構内作業能率の向上をはかり、輸送力増強に資する。
- 2 入換機関車の適正配置をはかる資料とする。
- 3 構内設備改善の資料とする。

調査項目はそのつど重点をおかれる目的によって異なるが、
おおむねつぎの項目のうち適当な項目を調査する。

- (1) 調査実施概略 (調査期日、天気気温、調査延人員、時間等)
- (2) 取扱客貨車数 (3) 流動貨車数 (4) 時間別方向別構内現在車 (5) 時間別線路別構内現在車 (6) 入換機関車実働時分 (7) 入換機関車走行キロ (8) 入換機関車石炭(または電力、軽油)消費量 (9) 入換機関車水消費量 (10) 入換機関車起動回数 (11) 引上車数 (12) 入換機関車実働作業図表 (13) 方向別貨車中継時間。(内田富彦)

いれかえどうしゃ 入換動車 (英) shunting motor-car

車両の入換作業をする目的で作られた動力を有する車両で機関車以外のものである。すなわち入換用の動力車の一つであって、
入換機関車より小型のもので、自重2t以上10t以下、内燃機